

金木町企画室

金木町大字金木字朝日山323  
電話 53 2111 (代表) 内線40



昭和59年4月号 (第216号)

昭和59年度 一般会計予算 目別の内訳

歳入	予算額	構成比	増減率
町税	5億2,666万円	17.8%	11.3%
地方譲与税	4,450万円	1.5%	8.5%
自動車取得税交付金	2,550万円	0.9%	6.3%
地方交付税	11億9,500万円	40.3%	0.5%
交通安全対策特別交付金	90万円	0%	△0.4%
分担金及び負担金	3,660万円	1.2%	△17.7%
使用料及び手数料	5,919万円	2.0%	8.7%
国庫支出金	1億6,533万円	5.6%	△23.8%
県支出金	2億4,616万円	8.3%	85.0%
財産収入	295万円	0.1%	34.0%
繰入金	9,279万円	3.1%	42.0%
繰越金	500万円	0.2%	△75.0%
諸収入	3,758万円	1.3%	0.9%
町債	5億2,420万円	17.7%	19.0%
合計	29億6,236万円	100.0%	8.0%

歳出	予算額	構成比	増減率
議会費	6,640万円	2.2%	△16.3%
総務費	3億3,489万円	11.3%	△5.1%
民生費	3億3,679万円	11.4%	9.3%
衛生費	3億7,657万円	12.7%	△21.2%
労働費	1,015万円	0.3%	△0.6%
農林水産業費	3億9,065万円	13.2%	34.2%
商工費	9,040万円	3.1%	112.1%
土木費	1億9,022万円	6.4%	△23.7%
消防費	1億6,124万円	5.4%	△0.4%
教育費	6億9,487万円	23.5%	46.0%
災害復旧費	0		皆減
公債費	3億718万円	10.4%	10.1%
諸支出金	0		皆減
予備費	300万円	0.1%	—
合計	29億6,236万円	100.0%	8.0%

29億6千2百万円

一般会計予算決まる

金木町の今年のまちづくりの基本となる当初予算が三月定例町議会で可決されました。

一般会計は二十九億六千二百三十六万円と、前年度に比べて八%増加していますが、これは、金木中学校の建設事業費の延びによるもので、財政の状況は依然として厳しいものとなっております

自主財源は25%

歳入では、国や県に依存している依存財源が二十二億八千七百円、全体の二三・

特別会計では、国民健康保険に八億六千六百五十九万円、水道事業に二億三千三百三十三万円、老人保健に四億二千四百十五万円を計上しています。これらの予算をもとに、しをご紹介します。

金木中建設に4億8千万円

歳出の目的別内訳を見ると、金木中学校建設事業費四億八千五百万円を含む教育費がトップで六億九千四百八十七万円、全体の二三・

これに対し、町が自主的に収入できる自主財源は七億六千七百七十七万円、二五・七%で、その内訳は、町税が五億二千六百六十六万円、繰入金九千二百七十九万円、使用料及び手数料五千九百十九万円などとなっております。

五%を占めています。次いで、新農業構造改善事業補助金九千二百五十万円などの農林水産業費、公立金木病院負担金一億六千四百万円などの衛生費、老人福祉センター建設事業費二千三百四十五万円などの民生費の順で続いています。一方、これらを性質別にみると、二ページの表のとおり道路工事費などの普通建設事業費がトップで九億五千八百八十九万円と全体の三二・一%を占め、次いで、議員報酬や職員給料などの人件費が八億三千万円、一部事務組合負担金などの補助費等が五億四千九百四十万円などとなっております。



金木中学校建設予定地の金木貯木場



民生費

▽老人福祉センター(金木地区)の建設事業に二千三百四十六万円  
▽津軽北部老人福祉事務組合の負担金に六百五十一万円  
▽西北五精神薄弱児施設組合の負担金に百七十八万円  
▽街灯の修理や新設に二百二十五万円  
▽金木町社会福祉

協議会の補助金に百四十一万円  
▽老人クラブの補助金に二百六十六万円



衛生費

▽公立金木病院の負担金に一億六千四百万円  
▽成人病検診の委託料に六百九十八万円  
▽各種予防接種の費用に三百三十八万円  
▽結核検診の委託料に二百十

二万円  
▽健康診査委託料に百三十二万円  
▽西北五衛生処理組合の負担金に三千八百七十一万円  
▽水道事業特別会計への繰入金に八千六百七十六万円



農林水産業費

▽新農構整備事業の補助金に九千二百五十万円  
▽広域農道の整備促進事業に六千三百三十万円  
▽林道(嘉瀬線)の整備事業に三千三百四十七万円  
▽農免農道(喜良市地区)の整備促進に六百四十四万円  
▽県営かんがい排水事業の補助金に六百五十五万円  
▽転作中核集団育成対策費補助金に四百三十万円  
▽転作特定作物振興対策費補助金に百五十万円  
▽大豆の定着化促進活動事業の補助金に百八十万円  
▽町転作事業連絡会議運営費の補助金に百四十万円  
▽水稻育苗ビニールハウス設置費の補助金に二百三十七万円  
▽農



消防費

村総合整備計画の作成費に二百六十四万円  
▽部分林の間伐促進対策費に二百十九万円  
▽経営資金利子補給補助(災害農業経営資金など)に千六百五十九万円

▽津軽北部消防事務組合の分担金に千六百二十九万円  
負担金に一億三千二百七十七万円  
▽消防団員の報酬に百五十万円  
▽小型動力ポンプの購入に百五十万円



教育費

▽金木中学校の建設に四億八千五百六十一万円  
▽中央公民館の補修工事に二百八十万円  
▽金木南中学校の用地取得造成に千二百三十九万円  
校内の電気配線工事費に百万円



土木費

▽道路新設改良(藤枝2線の舗装など)に五千五百七十万円  
▽橋りょう架け替え(一番橋)に二千九百万円  
▽地方道改修事業(新喜良市線)に二千四百三十三万円  
▽道路台帳の整備委託料に二千四十万円  
▽除雪対策に八百八十三万円  
▽岩木川堤防の除草委託料に



商工費

▽芦野公園用地の購入費に四千四百四十二万円  
張芝および東屋の設置工事に六百五十万円  
▽金木町商工会の補助金に二百五十万円  
▽さくらまつの助成に二百万円  
▽夏まつりの助成に百七十万円

性質別内訳

区分	予算額	構成比	増減率
人件費	8億30万円	27.0%	3.1%
物件費	2億4,935万円	8.4%	△15.2%
維持修繕費	1,692万円	0.6%	23.1%
扶助費	4,327万円	1.5%	△3.9%
補助費等	5億4,940万円	18.5%	6.1%
出資及び貸付金	1,988万円	0.7%	1.0%
積立金	0万円	0%	皆減
繰出金	2,117万円	0.7%	7.8%
公債費	3億718万円	10.4%	10.1%
普通建設事業費	9億5,189万円	32.1%	26.7%
予備費	300万円	0.1%	—
合計	29億6,236万円	100.0%	8.0%

七百七十六万円  
▽町営住宅の管理に五百四万円

# 全議案を可決閉会

## 町議会3月定例会

第七回町議会定例会が三月十七日に開会、会期を二十二日までの六日間と決めた後、全議案を一括上程

古川町長が提案理由を説明しました。

十八日は議案熟考のため

休会の後、十九日には三名の議員が一般質問。二十一日には予算特別委員会が開かれ五十九年度予算案を、二十二日には単行案などをそれぞれ審議の結果、追加提案を含めた全議案が可決されました。

可決された議案のおもな内容は次の通りです。

### 印鑑証明

#### 手数料など引き上げ

金木町手数料条例の一部が改正され、印鑑証明書の手数料などが四月一日から引き上げられました。

住民票や印鑑証明などは迅速かつ正確性が強く要求され、これに対処するため

町ではコンピュータ処理や印鑑証明書交付の機械化を導入しています。

◇住民票、戸籍の附票および図面の閲覧 五十円が二百円に

◇住民票および戸籍の附票の写しの交付 二百円が二百円に（但し、二枚以上は四百円）

◇印鑑登録証の交付および再交付 二百円が二百円に

◇証明手数料（印鑑証明、資産証明、身分証明など） 二百円が二百円に

◇簿書の謄本、抄本または図面の複写の交付 二百円が二百円に（但し、地籍図、集成図の青写真に限り千円）

### 町職員の定年が六十歳に

今まで町職員には定年制がなく、五十八歳で退職を勧奨していましたが、地方

公務員法の改正により、六十年三月三十一日から定年制が敷かれることになりました。このため、国や県、他市町村の動向を見定め、町の職員の定年を六十歳とするほか、定年退職の特例や再任等に関する条項を含めた「金木町職員の定年等に関する条例」を定めることとしたものです。

### 町営住宅使用料も八・二%

町営住宅は二十八年度建

設の美晴団地など三百七十八戸あり、住宅使用料（家賃）は月額千円から二万五千円と、建設年度等によって差があります。

そのほかに決まったこと  
◇五十八年度一般会計補正予算（第八号）  
◇五十八年度国民健康保険特別会計補正予算（第三号）  
◇五十八年度老人保健特別会計補正予算（第二号）  
◇金木町保健センター設置条例

このうち五十五年度までに建設した三百五十戸について、県等の指導により、現在の物価の実情に対応した使用料への見直しをするため、「金木町営住宅使用料及び徴収条例」の一部を改正し、四月一日から住宅使用料が平均八・二%引き上げられました。

◇金木町火葬場使用条例の一部を改正する条例  
◇金木町国民健康保険条例の一部改正

### 特別会計

#### 国民健康保険

歳入歳出の予算総額は八億六千六百五十九万円と前年度より四千九百七十五万円の増を見込んでいます。これは、医療費の伸びによるものです。

（収益的収支予算）  
収入には、上水道からの収益として八千九百五十四万円、一般会計からの繰入金八千六百七十六万円などを、支出にはポンプ場電気料一千四百四十万円、企業債利息七千九百二十三万円など、収入支出ともに二億百十四万円を見込んでいます。

#### 水道事業

（資本的収支予算）  
支出に三千二百九十九万円を計上し、企業債償還金として三千五十九万円、取水ポンプ取替に百六十万円を見込んでいます。なお、収入は見込めないため当年度分の損益勘定留保資金で補てんすることになっています。

#### 老人保健

歳入の主な内訳は、保険税三億一千七十四万円と国庫支出金五億一千二百六十六万円などです。  
歳出では、療養給付費や高額療養費、助産費などの

歳入歳出とも四億二千四百十五万円を計上し、七十歳以上（一部は六十五歳以上）の老人が診療を受けた場合の医療給付に支出され

ます。



設置条例も決まり、町民の健康づくりの拠点として活動がスタートした金木町保健センター

# 金木町名誉町民 藤元嘉嗣氏 逝去

ニューヨーク市在住の名譽町民、藤元嘉嗣氏（八十五歳）が、さる三月十九日未明（現地時間）老衰のため逝去しました。

氏は、金木町に生まれ大正九年、二十二歳のときアメリカに渡り、いろいろな職業に従事した後、レストランを開業して成功。昭和二十五年から金木小学校や

中学校、金木高等学校などに毎年のように運動用具や現金を贈り続け、町では四十九年三月、金木町名誉町民の称号を贈り、奇特な行

為をたたえました。最近はず供たちも独立したため事業を引退し、夫人と悠々自適の生活を送っていたものです。遺骨は五月中旬ごろ、遺族の手で、雲祥寺にある墓地に埋葬される予定です。

## 行政協力委員決まる

◇金木 本町 角田正男 栄町 松江正太郎 田町 工藤サダ 南新町 竹内美代志 上山道町 白川昭男 代志 上山道町 白川昭男

## 戸籍の窓口

三月

### おめでとう

對馬 裕美（清一）嘉瀬  
高松 瞳（久）金木  
高松 祐介（久）金木  
水口 雅博（吉信）金木  
門間 勇樹（勇悦）金木

白川 智也（光正）川倉  
工藤 公嗣（文則）金木  
三上 友美（友彦）喜良市  
神島 利香（鉄三）嘉瀬

（前田）淳子（芳信）神原  
（三上）克人（俊明）中里町  
（山崎）一夫（二郎）五所市  
（阿部）明（清夫）中里町

（阿部）定行（定男）嘉瀬  
（小林）美紀子（勇蔵）弘前市

（吉田）俊逸（清作）中里町  
（中村）真弓（兼雄）金木

（吉田）俊逸（清作）中里町  
（小寺）美穂子（年実）中里町

## ナンバーワン

嘉瀬 對馬 清一  
長女 裕美ちゃん  
3月3日生まれ  
体重 3,300グラム



### おしあわせに

（小山内）清人（高志）嘉瀬  
（原）和歌子（文男）弘前市  
（前田）淳子（芳信）神原

## おくやみ

山中 亀一（85）嘉瀬  
大橋 兼太郎（71）喜良市  
原田 春光（36）金木  
榊引 イネ（56）喜良市  
八木 橋みどり（50）金木  
古川 タミ（72）喜良市

区 奈良光男 昭和町一区  
津島 金太郎 昭和町二区  
佐々木 男治 神明町一区  
片岡 八千雄 神明町二区  
前田 孝 朝日町一区 角  
田徳太郎 朝日町二区 齊  
藤正利 北新町 長尾基五  
小川 町一区 新岡年  
小川 町二区 野呂正 米町  
香山 広秀 川端町 長尾  
慶治 寺町 藤元昭造 東  
芦野 町 小笠原圭司 西芦  
野町 阿部定一 浦町 花  
田 柁五郎 新富町 成田隆

守 若松町一区 沢田耕作  
若松町二区 福井彬二 若  
松町三区 工藤達則 若松  
町四区 菅原長六 見崎町  
小山内トシエ 三軒町  
中西昭治 上沢部 津島喜  
之 下沢部 白川竹治 旭  
ヶ丘 一区 北沢清一 旭ヶ  
丘 二区 原田正光 大東ヶ  
丘 鈴木定五郎 雲雀ヶ丘  
団地 工藤ユリエ 芦野団  
地 一区 西村正男 芦野団  
地 二区 白川浩治 朝日団  
地 原田春彦 上時田 吉  
田賢一 下時田 岡田喜十  
郎 神原 前田清三 上藤  
枝 工藤善四郎 中藤枝 工  
藤武一郎 下藤枝 工藤  
良村 湯の川 成田重雄  
林下 中谷豊年 向道 田  
中長昭 女坂 中谷孫一  
上宇田野 三瀧正行 下宇  
田野 中谷幸江子

ガソリンスタンドの  
日曜営業案内  
▽4月22日  
三上石油 52 | 2370  
▽5月13日  
吉万石油 53 | 2534  
▽5月20日  
黒川石油 53 | 2732  
▽5月27日  
荒閑商店 53 | 3125  
原田清治 冷水 今喜代治  
車町 山中将 畑中 山中  
伊佐男 後町 小松久次郎  
上古町 須崎金成 下古町  
鳴海為之助 新誠町 今  
清 新提町 一区 小野留雄  
新提町 二区 斉藤鉄美 上  
鍛冶町 原田金四郎 下鍛  
冶町 神島恵之助 上中柏  
木 小山内武之進 下中柏  
木 原田療

## 人口と世帯

	3月31日現在	前月比
人口	14,349人	-84
男	6,901人	-45
女	7,448人	-39
世帯数	3,888世帯	0

◇嘉瀬 雲雀野団地 神  
島恵子 東町 齊藤忠英  
上小栗崎 伊藤セチ 中小  
栗崎 松川平次郎 下小栗  
崎 伊藤権衛 上派立 花  
田 下派立 鎌田善光 上  
新町 今哲三 下新町 今  
兼春 上昭和町 今常男  
下昭和町 沢田茂 本町

◇喜良市 更生部落 菊  
池良治 西岩見町 桑田直  
一 東岩見町 宮崎与太  
林町 桑田清三郎 野崎  
宮崎初太郎 北本町 西村  
晃一 上派立 桑田邦夫  
下派立 三上菊次郎 南本  
町 三上修二 上柏木  
中村園家 下柏木 中村利  
宗 下町 今清作 川端町  
今重雄 双葉町 工藤伸輝